

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【公開番号】特開2005-162782(P2005-162782A)

【公開日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報2005-024

【出願番号】特願2003-400345(P2003-400345)

【国際特許分類】

C 0 8 G	65/26	(2006.01)
A 6 1 K	8/19	(2006.01)
A 6 1 K	8/72	(2006.01)
A 6 1 K	8/00	(2006.01)
A 6 1 Q	1/00	(2006.01)
C 0 8 G	65/329	(2006.01)

【F I】

C 0 8 G	65/26	
A 6 1 K	7/00	B
A 6 1 K	7/00	J
A 6 1 K	7/02	Z
C 0 8 G	65/329	

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月13日(2006.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一般式(1)で表されるポリエーテル(E1)及び/又は(E1)と炭素数1~18のカルボン酸もしくはそのエステル形成性化合物から得られるエステル化物(E2a)、(E1)とポリイソシアネートから得られるウレタン化物(E2b)、および(E1)と(ポリ)ハロゲン化物から得られるエーテル化物(E2c)からなる群から選ばれる1種以上である誘導体(E2)からなることを特徴とする化粧品用ポリエーテル組成物。

一般式

$$R^1 - \{ (OCH_2CH_2CH_2CH_2)_m (OA)_n - OH \}_q \quad (1)$$

[式中、R<sup>1</sup>は炭素数1~24のq価のアルコールからOHを除いた残基、Aは1,4-ブチレン基を除く炭素数2~12のアルキレン基であり、qは1~6の整数、m及びnは1~600の整数であり、(OCH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>(OA)<sub>n</sub>の部分はランダム結合又はブロック結合を表す。]

【請求項2】

(E1)が、HLB10以下、かつ数平均分子量500~30,000である請求項1記載の化粧品用ポリエーテル組成物。

【請求項3】

前記エステル形成性化合物が、カルボン酸無水物、炭素数1~4のアルキル基を有するカルボン酸アルキルエステル又はカルボン酸ハロゲン化物である請求項1又は2に記載の化粧品用ポリエーテル組成物。

【請求項4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のポリエーテル組成物並びに油分及び / 又は無機粉末を含有してなる化粧品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

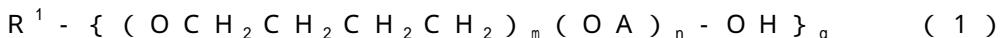
【補正の内容】

【0 0 0 4】

本発明者らは、上記課題解決のために鋭意検討した結果、特定のポリエーテル組成物が優れた油分相溶性（油分との相溶性）と無機粉末分散能を有することを見いだし本発明に到達した。

すなわち、本発明は、一般式（1）で表されるポリエーテル（E 1）及び / 又は（E 1）と炭素数 1 ~ 18 のカルボン酸もしくはそのエステル形成性化合物から得られるエスチル化物（E 2 a）、（E 1）とポリイソシアネートから得られるウレタン化物（E 2 b）、および（E 1）と（ポリ）ハロゲン化物から得られるエーテル化物（E 2 c）からなる群から選ばれる 1 種以上である誘導体（E 2）からなることを特徴とする化粧品用ポリエーテル組成物である。

一般式



[式中、R<sup>1</sup>は炭素数 1 ~ 24 の q 値のアルコールから OH を除いた残基、A は 1, 4 - ブチレン基を除く炭素数 2 ~ 12 のアルキレン基であり、q は 1 ~ 6 の整数、m 及び n は 1 ~ 600 の整数であり、(OCH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub> (OA)<sub>n</sub> の部分はランダム結合又はブロック結合を表す。]